

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
水防意識向上に関する調査研究—水害経験の継承による、水防意識向上に資する具体的な方策の検討— (H21年～H22年)	関東学院大学 喜田 愛子	C
<p><研究概要></p> <p>東京東部地帯（東京低地）では防潮堤・防潮水門等の施設整備は進められているものの、地域住民の水防意識は決して高い状況にはない。本研究では、全国各地における水害経験において、水防意識を何らかのかたちで継承していると判断した事例を収集・分析した。その成果を基に東京低地における、「地域住民の水防意識の向上」に関する具体的な方策を検討することで、住民の自助や地域の安全性に資することが本研究の目的である。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>地域の水害の歴史、それに対する地域の取り組みを新たな住民が知ることにより、地域の自助・共助の能力を高めるという視点は理解できる。しかしながら、研究内容は、水防意識を継承している事例の収集とそのタイプ分けに終始しており、事例の違いが具体的にどのように現在の水防意識向上に効果を発揮しているのかまでは明らかになっていないため、今後の水防意識向上につながるよう、調査結果に基づいた新しい知見や具体性のある提案を河川管理者や地域社会に発信して頂きたい。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い